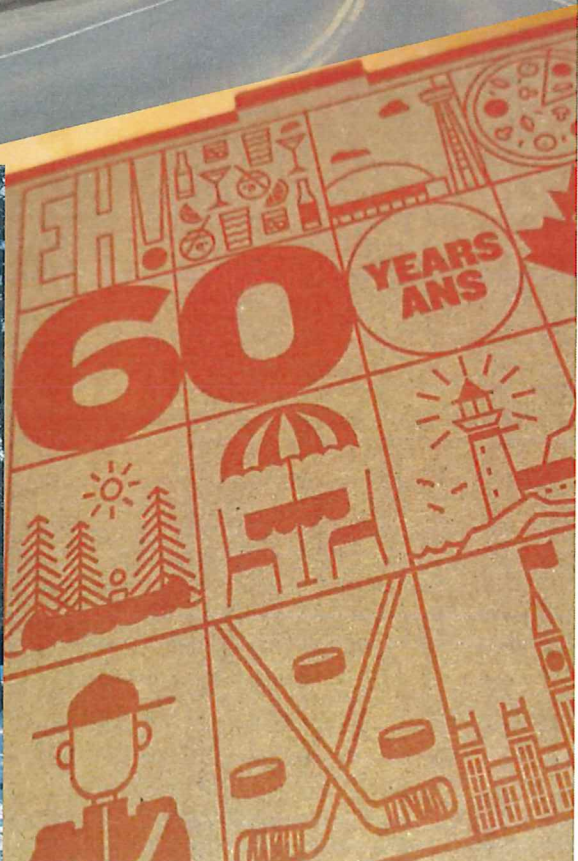
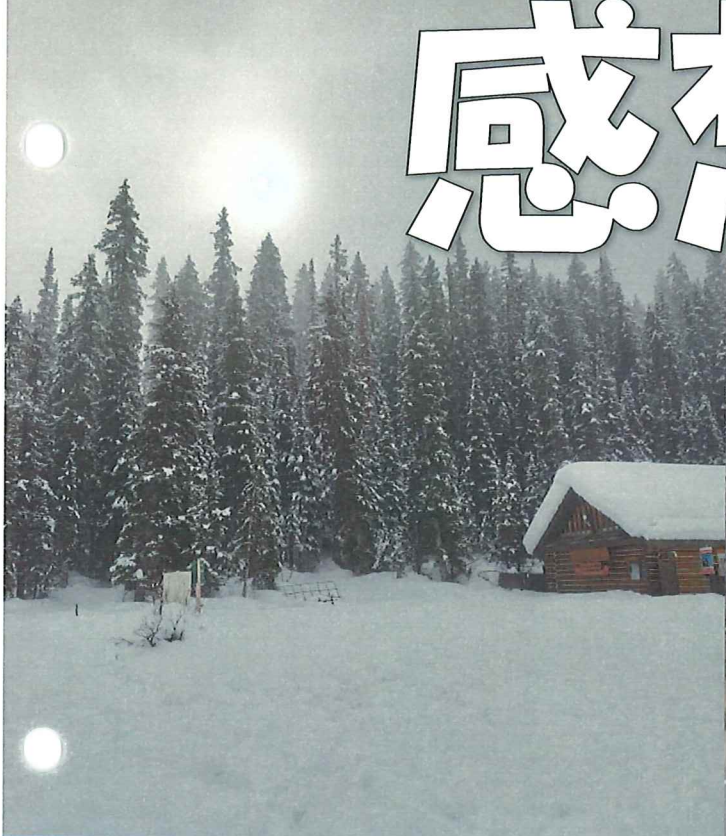




感想文



第 16 回中学生カナダ派遣事業(メープル交流事業)

三木町教育委員会
教育総務課 井口 和久

三木町の中学生にとってあこがれの事業である中学生カナダ派遣事業が 6 年ぶりに再開され、三木町在住の中学 1 年生 7 名、2 年生 7 名とともにカナダ、ディズベリー町を訪問しました。今回から隔年での交流となり、学年の異なる生徒たちが、1 つのチームとなって参加しました。

参加した生徒は、ホームステイや、Westglen School での現地中学生との交流、地平線が日常生活の中にあるカナダの広大な風景、遥かに連なる雪のカナディアンロッキーの眺望、三木町ではできないスノーシュー体験等を通して、カナダの人たちとの生活に馴染み、新しい自分を発見していきました。

人との交流だけではなく、飛行機に搭乗する際の厳しい保安検査や入国審査、右車線を走行する自動車、日本とは異なる横断歩道の歩行者用信号の表示、チップの習慣、クレジットカードでしか利用できない自動販売機等、ほとんどの生徒にとって初めての経験に戸惑い、時には失敗し、内省しながら、世界を広げ、たくましく日々成長していきました。その姿を見ることができたことは引率者として何より幸せなことでした。生徒たちはこの事業の所期の目的を十分に果たすことができたのではないかと思います。



特に印象的だったのは、「さようなら パーティー BBQ」での生徒たちの合唱の様子です。パーティーの最後に、夕暮れの牧場の地平線を背景にして、生徒たちはホストファミリーや BBQ の主催者に感謝の気持ちを込めて、練習を重ねてきた「絆」を披露しました。ホストファミリー等との交流を思い出しながら万感の思いで歌う生徒たちと彼らを優しいまなざしで見つめるホストファミリーの姿にきずなの深まりを感じ、胸を打たれました。

翌日早朝、ディズベリー町を去る時に、見送りに来ていたホストファミリーが、「数日前までは全く知らなかった子どもたちが今は大切な家族になりました」と伝えてくれました。その言葉をまさに象徴する合唱でした。

最後になりましたが、この事業を実現させてくださった三木町や交流委員会の方々、ご協力いただいた保護者の皆様とディズベリー町の人々のホスピタリティに心から感謝するとともに、三木町の子どもたちに夢と希望を与える本事業が、これからも続いていくことを願っています。

The 16th Maple Exchange Programme

This popular programme finally started up again after a 6-year break. I was very lucky to visit Didsbury as a chaperone with the grade 7s and 8s. I cannot thank everyone in Didsbury enough for their warm hospitality.

Our students had many new experiences in Canada – homestay, visiting Westglen School, cars driving on the “wrong-side” of the road, different pedestrian lights, tipping in restaurants, cashless vending machines, snowshoeing and the list goes on and on. Each and every moment, experience and occasional mistake has helped to broaden their horizons. It also helped them to discover themselves.

One memorable event was the Overwater’s BBQ. To show our appreciation, our students sang a song called “kizuna” (bonds). It was a perfect way to express how in such a short time our students had created a bond that will last a lifetime.

Kazuhisa Iguchi
Miki Board of Education



令和6年度 三木町中学生カナダ派遣事業

三木町立三木中学校

織田 祐恵



6年ぶりの中学生カナダ派遣事業の開催ということで、参加生徒はとても楽しんで活動に参加していました。ホームステイでは、言葉が通じないもどかしさや文化の違いを感じつつも、お互いのことを理解し合いたいという思いをもって寝食を共にすることで、言葉の壁を越えて思い出深い日々を過ごすことができたようです。

Westglen School 学校訪問では、昨年の夏から準備してきた

ミニ祭りの発表や、3グループに分かれての日本語、折り紙、習字の講座、授業見学を行いました。自分たちが準備した日本文化体験をカナダの中学生が興味をもって取り組んでくれたことは、生徒にとってとても嬉しい経験になりました。引率者は、ディズベリー町の小学校、高校にも案内していただきました。日本とは異なる学校の雰囲気や教育システム、異なる国でも同じよう課題があること、同じ仕事をする者として、これからも交流の機会をもって学んでいきたいと思います。

カナダの文化や雄大な自然、ディズベリー町の方々の温かい歓迎にふれることを



通して、生徒も引率者も多くのことを感じ、学びがありました。また、自国や自身のことについても振り返るいい機会となりました。この6年の社会情勢の変化などによって、参加生徒が1年生、2年生に変更、2年に1回の開催に変更になるなど、この事業の継続は簡単ではないと思いますが、これまで多くの方の想いで20年続いてきた、このメープル交流事業が何らかの形で継続されることを願っています。



2025 Maple Exchange Programme

We were extremely happy that this programme was able to start up again after a 6-year break. The students were able to overcome the language barrier and bring

home lots of wonderful memories.

When we visited Westglen School, our students taught the students the things that they had been preparing for the last few months – festival games, Japanese, origami and calligraphy. Westglen students were excited to learn about Japan which made our students happy. The chaperones also had the opportunity to visit the elementary and high school which as an educator was very interesting for me. It was especially interesting to learn that we have the same issues that they do in Canada.

This was a learning experience for everyone involved, both students and chaperones. Everything we experienced help to make this an unforgettable experience: the warm welcome we received in Didsbury, learning about Canada, and experiencing her majestic beauty. There have been many changes

in the world during

the 6-year break but I hope that the Maple Exchange Programme can continue in some form.

Sachie Orita

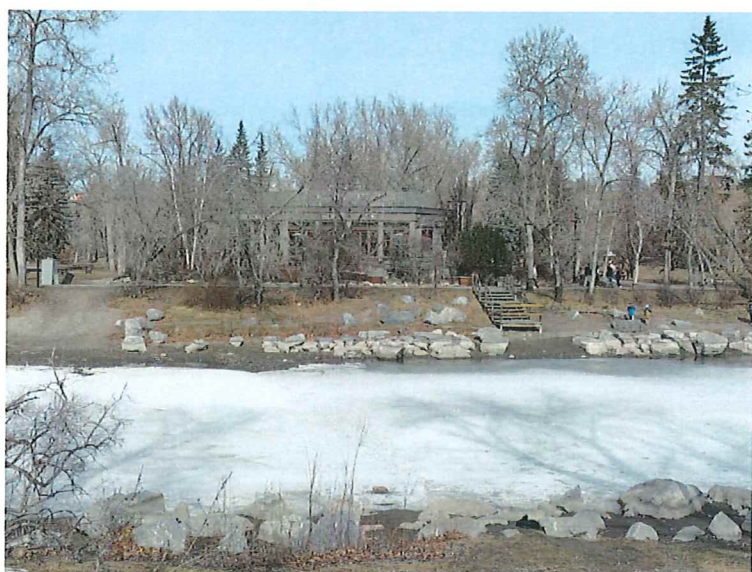
Teacher, Miki Junior High School



三木町中学生カナダ派遣事業との心温まる交流を終えて

三木町教育委員会
生涯学習課 香西 ジョアン

2005年から始まった三木町中学生カナダ派遣事業は、今年で 21 年目を迎えました。コロナ禍のため、中断していましたが、6年ぶりの再会となり、カナダの大自然の中で、ディズベリー町の中学生やホストファミリーの皆さんと心温まる交流を行うことができました。



今回の交流事業では、中学1年生7名と中学2年生7名、引率者3名の計17名が参加しました。ディズベリー町の皆様の温かいおもてなしのおかげで素晴らしい滞在となりました。天候にも恵まれ、ウエストグレン学校でカナダの学校生活を経験したり、雪上での屋外活動を楽しんだりすることができました。そして、ホームステイを通じてホストファミリーの皆様と様々な交流をすることもできました。

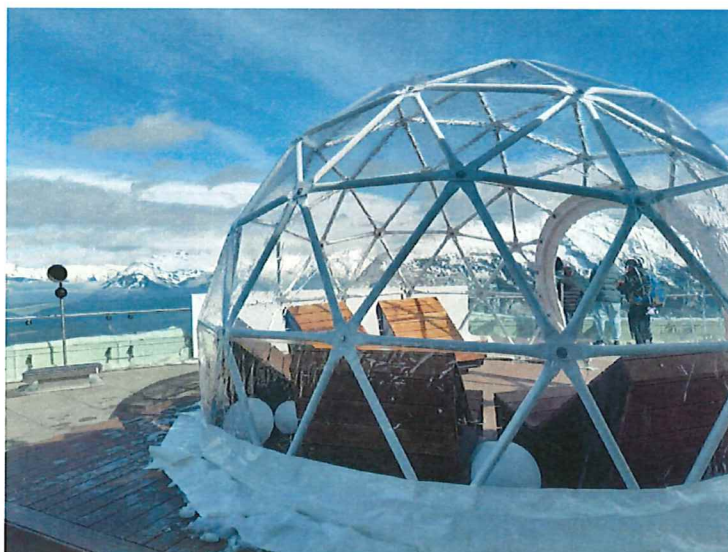
カナダでの9日間を通して特に

心に残ったことを紹介したいと思います。

1 つ目は、「相手に伝えたい」という気持ちを強くもてば、言葉は分からなくても相手に伝わるということです。笑顔で心がけ、積極的にカナダのホストファミリーやウエストグレン学校の生徒と交流する生徒たちは素晴らしかったです。

2 つ目は、「カナダならではの経験」を通じて成長していった子供たちの姿です。カナダの大自然に囲まれ、これまでに食べたことのない珍しい食べ物を口にしたり、ユネスコの世界自然遺産であるロッキー山脈で雪合戦をしたりする生徒は本当に楽しそうでした。

3つ目は、「学ぶ姿勢の大切さ」です。カナダの歴史や文化、社会状況など様々な内容を自分たちなりに考え、話し合い、意見をまとめていました。英語での情報



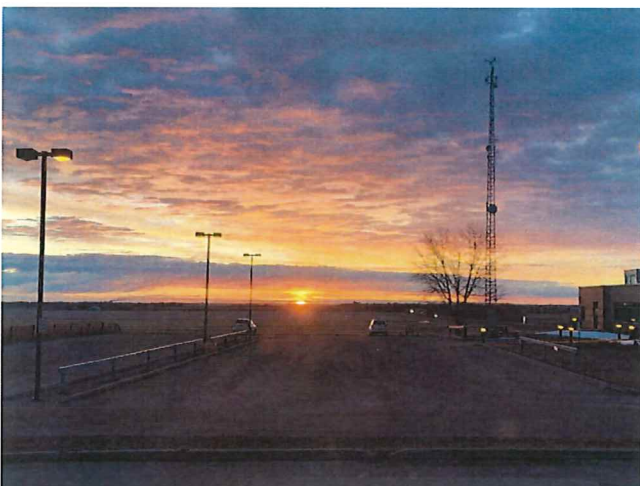
を理解して自分たちの考えをまとめていく過程は充実したものになりました。

カナダで過ごした9日間はあっという間でしたが、その思い出や経験は生徒たちにとって一生の財産となったと思います。この交流事業を通じて、三木町とディズベリー町の友好がさらに深まり、子どもたちが大きく成長することを願っています。

11 Years Later – Thank you Didsbury!

“It has been 11 years since I was a chaperone in the Maple Exchange Programme”. Had things changed in that time? The answer is no. Didsbury, you are just as I remembered you – welcoming, friendly and your small-town hospitality is something to be proud of.

You opened your homes and gave our 14 students (and chaperone) the opportunity to experience life in Didsbury (and Olds). Each experience be it small or big was a learning experience. Allow me to share a few highlights from our short stay: A welcome dinner fit for a king with delicious beef on a bun, salads and desserts galore. Handmade welcome bags filled with so many treats. A weekend packed full of fun family outings and delicious meals. Two days at Westglen School full of fun and learning. The best Sayonara Party ever hosted by The Overwaters with delicious hamburgers and more.



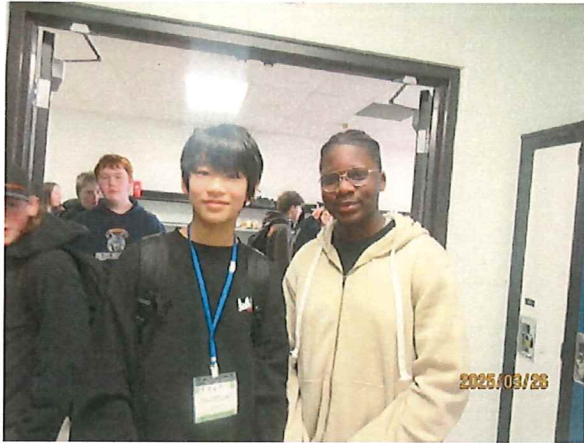
Each minute our students were in Didsbury helped to set the path for their futures. To steal a line from Dr. Seuss “OH! THE PLACES YOU'LL GO!” and that is thanks to you Didsbury!

Joann Kozai
Miki Board of Education



カナダでの思い出

三木町立三木中学校 大泉 仁



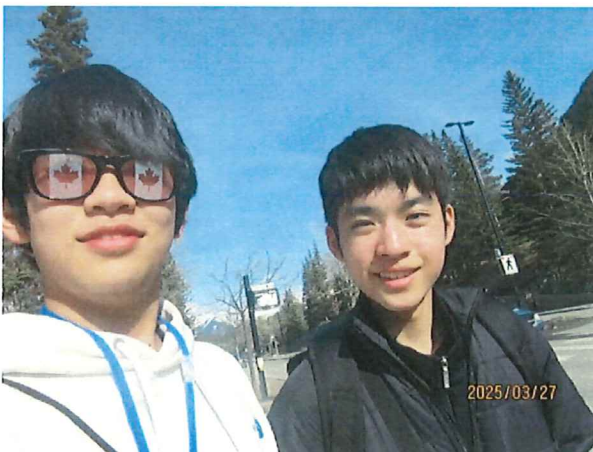
日本を出発する前、僕は楽しみと不安でいっぱいでした。英語を話すことができるだろうか、ホストファミリーと仲良くできるのだろうかなど不安な気持ちもあったけど、ホストファミリーは温かく迎えてくれました。緊張してなかなか英語が聞きとれない僕にゆっくり話しかけてくれたり、翻訳アプリなどを使って細かいところまで気にかけてくれたりしました。とにかくいつも笑顔でたくさん話しかけてくれたので、緊張がほぐれ積極的に会話を楽しむことができました。

そして、ホストファミリーは僕たちがいろいろな経験ができるように様々な計画を立ててくれていました。買い物や博物館に連れて行ってくれたり、ホストマザーの友達の家を招待してもらい、馬や羊などの動物に触れ合ったりもしました。

日本から持って行ったお土産を渡したら、とても喜んでくれたので嬉しかったです。その中でも特にきなこもちを気に入ってくれたようで僕が作ってあげると「おいしい」と言って食べてくれました。翌日も食べてくれていたので気に入ってもらえてよかったなと思いました。



2日間の学校訪問では、友達もできました。いつも隣に居てくれたので心強かったです。一緒に過ごす中で、言語の違いがあってもジェスチャーや表情で通じ合うことができるということが分かりました。日本の文化の紹介では、僕は日本語教室を担当しました。教えた日本語をすぐに覚えてくれ、帰り際に日本語で「アリガトウ」と言ってくれ嬉しかったです。



さよならパーティーでは、ディズベリー町の方の家に招いていただき、カナダのBBQを振舞っていただきました。その方が育てた牛で作ったハンバーガーはとてもおいしかったです。〇×クイズはホストファミリーたちも盛り上がってくれたので、三木町や日本について知ってもらえるいい



機会になりました。この日は他のホストファミリーの方たちとも交流でき、思い出に残る1日となりました。ディズベリー町の方々はとても温かく、やさしい人たちばかりでした。次の日にはもうお別れしてしまうと思うと寂しくなり、歌の時には関わってくれた方々へ感謝の気持ちを込め、またいつか絶対帰ってきたいという思いで歌いました。

今回、メープル交流事業に参加できて本当に良かったです。カナダの文化や習慣だけで

なく、自然やその土地を実際に自分の目で見ていろいろなことが学べました。そして、日本の良さにも改めて気付きました。一緒に行った仲間、引率の先生方、三木町とディズベリー町の関係者の方々、たくさんの人たちに支えられたおかげで忘れられない最高の思い出ができました。ゴンドラに乗り頂上からバンフの町並みやカナディアンロッキーを眺め白い山々が連なる景色に感動したこと、スノーシュー体験や雪合戦をしたことも一生の思い出です。今回の経験を活かし、これからはもっと英語を勉強し成長できるよう頑張りたいです。



My Canadian Memories

At first, I was nervous because I was not used to hearing everything in English. But host family is very friendly, and they taught me a lot about Canada. I was happy that they spoke to me slowly. I was also happy that they took me shopping and cooked delicious meals for me. I made a lot of memories at the farewell party. I'm grateful for meeting them and friends



in The days I spent in Canada are memories that will last a lifetime. I will study English more, and I want to go Canada someday.

Jin Oizumi

Miki Junior High School

初めてのホームステイ

三木町立三木中学校 岡 結奈



私はカナダに行くのが初めてでとても緊張していました。飛行機も1日3本乗り、そのうちの1本は12時間のフライトもありました。また、1日が終わっていないような時差ボケがあったけど、このカナダ派遣事業がなかったらこのような経験はすることがなかったかなと思います。

歓迎会では、ホームステイ先の人と会えてたくさん英語で話すことが出来ました。自分がホームステイすることは初めてでドキドキしました。初めは英語でうまく生活できるのかとても不安でしたが、一緒にホームステイした2人と、先生がいてくれたおかげで私はカナダで何事もなく楽しく生活することができたと思います。

ホームステイ先では、毎朝朝ごはんを朝早くから作ってくれてとても美味しかったです。また、色々な所に連れて行ってもらってとても楽しかったです。ハードスケジュール

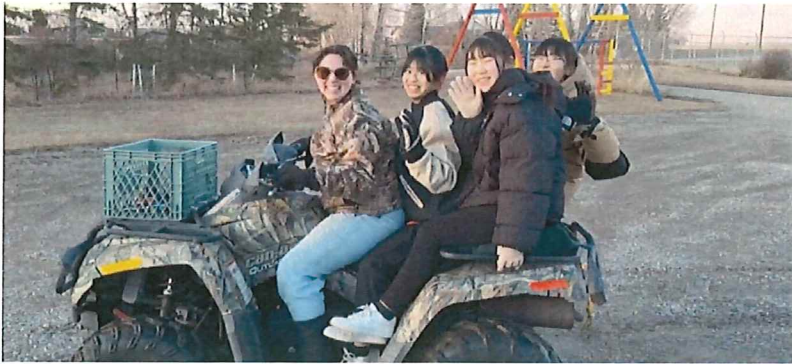
と初めての経験ばかりでなかなか体がついていけない時もあったけど、どこへ行ってもそれを越す楽しさがありました。ホームステイ先での1番の思い出は、チュービングとホッケー観戦です。チュービングでは、みんなで雪の坂をクルクル回りながら滑ることができました。ホッケーの試合は初めて生で観戦しすごく迫力があり面白かったです。



また、ホストファミリーには学校への送迎、間食の用意などしてもらい、とても感謝しています。でもなかなか自分の英語では感謝の気持ちが伝わらなかったと思います。だから、楽しかったことは仕草や、動き、表情で表したり、そこにプラス英語で伝えたり、自分なりのやり方で伝えることができたかなと思います。



ホームステイを終えた後には、ロッキーマウンテンやショッピングセンターに行きました。ロッキーマウンテンは足にスノーシューをつけて登りました。初めてつけてみたのでとても歩き辛かったです。雪に寝っ転がっている時は、手と足を広げてパタパタしていました。



友達と雪合戦をしたのも夢中になれて楽しかったです。雪合戦終わりはすごく濡れていることに気がついてびっくりしました。雪だるまを作ったり、木に雪玉を当てて顔を作ったりしてたくさん笑いました。ショッピングセンターでは、バス

に乗って行く途中に日本の人と会い、スターバックスにどうやって行くか教えてもらいました。そのあとみんなでお土産を買いに行きました。沢山買って、重い荷物を持ちながら夕食を食べにマクドナルドへ行きました。友達に手伝ってもらいながら自分の食べたいものを英語で注文することが出来ました。みんなでフライドポテトなどを食べながら、いろいろな話をしてたくさん笑い合うことができました。

カナダに向けて沢山勉強して準備していたのであまり抵抗なく9日間過ごすことができました。私たちがこのような素敵な経験をたくさんできるよう協力してくれた皆さんに感謝し、次は私ができることは何かをしっかりと考えてお返ししていきたいと思います。



Maple Exchange Programme

It was my first time to go to Canada, so I was nervous. I appreciate my host family for taking me to many interesting places, preparing meals, and taking me to school. However, I was not able to express my gratitude well in English, so I expressed it in my own way, by using gestures, movements, and facial expressions. I'm grateful

to everyone who helped me to prepare before I left, and I'll think about what I can do to give back to them.

Yuina Oka

Miki Junior High School



カナダに行って成長したこと

三木町立三木中学校 富田 彩夏



私は、三木町カナダ派遣事業に参加し、自分自身どのようなところが、成長したのかを考えてみました。

私はもともと積極性がなく、学校での発表などでも、自分から手を上げることがあまりできていませんでした。そんな中、三木町のカナダ派遣事業があることを知り、自分自身を成長させるためにも、参加しようと思いました。そして、参加をすることができて、すごく嬉しいなと思っていましたが、自分一人だけでホームステイすること

にすごく緊張をしていたし、自分一人で英語を使ってうまくしゃべれるか、不安がありました。

そして、カナダに行き、ホームステイをした初日は、自分が思っていたよりしゃべることができませんでした。ですが、私が困っていたらホームステイ先の家族が、翻訳機を使ってくれました。申し訳ないなと思いつつも翻訳機をつかってもらえば、話も通じるから大丈夫だなと思っていました。そう思っていた時、ホームステイを受け入れてくれた家族の一員、 그레이シーという女の子が日本語の勉強をしているのを見かけました。 그레이シーは、私と同年で、すごく優しい女の子でした。そんな 그레이シーは自分で、派遣事業のプリントに日本語について、自分で調べたことを書いて勉強していたり、わから



ないところを私に聞いてくれたりしました。それを見て、自分も頑張って翻訳機に頼らずに、英語やジェスチャーで話そうと思いました。それから私は、自分自身全力を出して、英語で話そうと、習った今までの英語を活用しました。それから、ホームステイ先の家族との会話を増やそうと自分の部屋にいる時間よりも、できるだけ長く、家族といる時間を増やしました。そうすると、自分の思っていたよりも英語





を理解し、英語を活用することができました。私は、英語はできないと思って、翻訳機を使えば、話も通じるし、大丈夫だなと思っていましたが、自分で頑張ろうと思えば、英語を理解し、英語を使うことができたので、自分で頑張ろうと思う気持ちがあれば、何事もできるのだと感じました。

私は、この三木町カナダ派遣事業に参加する中で、自分自身が積極的に行動することの大切さや、できないと思って行動することと、できると思って行動するのと

は全然違うことが分かりました。そして、ホームステイ中、自分から率先して行動したり、できると思って行動したりすることを、少しは実行することができたのではないかと思います。これらのことを、これからの学校の中である、発表や委員会活動などに活かしていけるように自分自身努力をしたいなと思いました。また、三木町カナダ派遣事業に参加し、私を受け入れてくれたホームステイ先の家族などへの感謝や、この貴重な体験を忘れずに生活をしていきたいとおもいます。

My Homestay Experience

I was really nervous at first. But I enjoyed living with my host family. Because my host family was so kind. My host family was a family of three.

There was a mother, a daughter, and a son. The daughters' name was Gracie, and since we were close in age. We became really good friend. I enjoyed ski, shopping, study and so on. But, Canada's school study is very difficult. Canada's food is good. I love hamburger and French fries. I was glad I went to Canada. So I want to go to Canada again. I wanted to know more about Canada.

Ayaka Tomida

Miki Junior High School



世界の広さを知った旅

三木町立三木中学校 松井 彩華

私が今回の旅で最も感じたのは、「世界は広い」ということです。使い古された感想のように思えるかもしれませんが、心から実感しました。今の時代、SNSなどを通じて世

界中の様々な情報を得ることができます。しかし、その土地の空気感、匂い、空の色、陽の光などは現地に足を運ばなければ知ることができませんでした。そして人との出会いは、何よりも忘れられない大切な宝物になりました。

私がカナダ派遣事業募集を知ったとき、絶対に参加したいと思いました。6年振りのカナダ派遣です。私が小学2年生の終わりを迎える頃、世界はコロナ一色になり、当たり前の機会が失

われるという経験をしました。チャンスは掴みにいかなければ、次は無いかもしれないとの思いがありました。選考会を経て参加できると知った時、一生懸命挑戦してしようと決心しました。

期待と楽しみな気持ちで訪れたカナダですが、良い事ばかりではありませんでした。第一の難関として移動時間の長さがあります。

少しホームシックにかかった時、自宅からの余りの遠さを痛感し、とても寂しく不安な気持ちになりました。時差ぼけなど、肉体的にも大変でした。そして言葉の壁、英語力の未熟さを知ることになりました。

そんな不安な気持ちの私を迎え入れてくれたホスト

ファミリーの家族構成は、パパ、ママ、同い年の女の子ケンジー、犬のクーパー、ハリネズミのクイリアムです。家に到着し、各部屋のドアに部屋の案内を書いたメモを貼ってくれているのを見た時は、とても嬉しかったです。ケンジーとは一緒にスクールバスに乗って登校し、テレビや映画で観た世界に入り込んだ様な気持ちになりました。夕食の後は、大きなアイスやポップコーンを抱えながら映画を観ました。犬のクーパー



も一緒です。これもテレビで観た光景だと嬉しくなりました。家族の皆は、私の緊張をほぐそうとさりげなくサポートしてくれました。上手くしゃべれなくても自分の意思を伝えてみようと思い、やりたいことや食べたい物をリクエストすることが出来ました。別れる時は本当に悲しくて、自分でも驚く程の涙が流れました。パパやママからは「サヤカは家族の一員だよ。」と言ってもらい、ケンジーからはサプライズでお別れの手紙をもらいました。家族



の皆、本当にありがとうございました。

現地を訪れて、自然の雄大さを感じることも出来ました。家からオーロラを見たり、バーベキュー会場から地平線を見た時、自分の悩みなどはとても小さな事なんだなあと感じました。心が軽くなった様な気がしました。

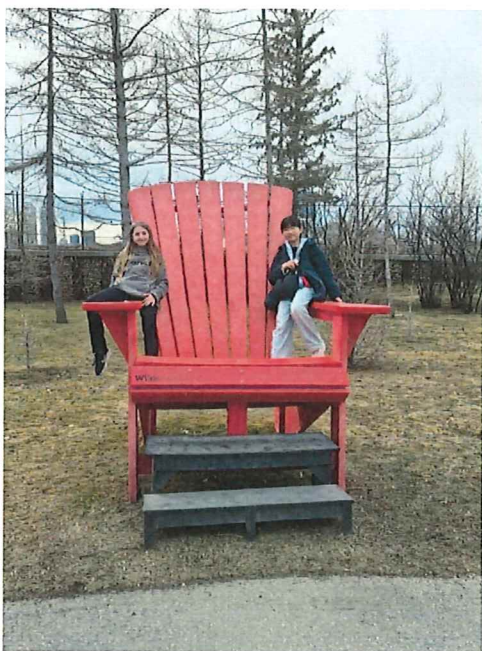
私はまた海外に行ってみたいです。一歩踏み出してみれば何とかなるもの

です。私はこれからも「やらずに後悔するより、やって後悔」の道を選んでいきたいです。



Seeing The Big Wide World

I was nervous until I met Kenzie, her mom, Stacy, and her dad, Paul. I met their friendly dog Cooper and sweet hedgehog Quilliam. One of my best



memories is seeing the Aurora Borealis with them from their backyard for the first time in my life. Visiting the Calgary Zoo with Kenzie, Stacy, and Paul was also fantastic. We enjoyed seeing lots of animals and taking photos together. Before I left, I received a letter from Kenzie. I was so sad. I also wrote a letter to the Duggan family. They're so sweet and kind to me. I felt entirely at home. My spring homestay life was so lovely. I want to visit again.

Sayaka Matsui
Miki Junior High School